

金 建東（キム ゴンドン）さん 大韓民国 鹿屋市 鹿屋体育大学留学生

タイトル：鹿屋は田舎じゃないが、田舎です

こんにちは、私は金 建東と申します。今日の日本語スピーチ大会に参加することができて光栄です。

今日私が準備したスピーチのタイトルは「鹿屋は田舎じゃないが、田舎です。」少し変なタイトルでしょう？でもこのタイトルが私が鹿屋で感じたことをもっともよく表現したタイトルだと思いました。

私がここに来てからもう3か月ぐらいの時間が過ぎました。今まで本当に様々な人に会いました。会った人のほとんどは私に「鹿屋は田舎なので本当に不便でしょう？」といつも私に聞きました。私はその言葉に同意できませんでした。私は鹿屋に何がなくて不便かな？って考えてみました。

まずここには私が住む家があり、具合が悪い時は行ける病院があり、お腹が空いた時にはたくさんのおいしい食堂があり、友達と遊びたい時は、カフェ、飲み屋、カラオケ、ボウリング場、卓球する所そして、大きなパチンコもたくさんあります。特に私はサッカーが好きで今は鹿屋高校の体育館という立派な空間で社会人のサッカークラブで活動中です。また、私は韓国語に興味がある方に韓国語を教えていて私としては、とても感謝しているバイトもあるところです。このようなことから、鹿屋は決して田舎ではないと私は自信を持って言いたいです。

しかし、鹿屋はやはり、田舎の部分もあります。ここは海と山などの大自然があって、田舎だからできる自然ライフを楽しむことができます。地域の方は私たちにいつも手作りのおいしい食べ物をくださったり、温かい心と配慮があります。

もちろん、不便な点はあると思います。でも私にとっては、鹿屋はどこよりも素晴らしい街で、幸せな思い出ができる場所だと思います。この幸せな心を持ってさっきも言いましたが私はサッカーが好きで交換学生期間が終わった後また、日本に帰って J リーグチームの球団職員として就職も挑戦してみるつもりです。

私がこんなに適応できるように手伝ってくださった人たちに今日のスピーチを通じて、感謝の気持ちを伝えたくかったです。聞いていただきまして、ありがとうございます。